



## PRESS RELEASE

平成22年7月28日

岡山大出版会

今年度も新刊が続いています！

『池田家文庫資料叢書 第1巻』を刊行！

「湖水爆発の謎を解く」も5月末刊行

岡山大出版会では、池田家文庫の貴重な資料を「池田家文庫資料叢書」として順次刊行する試みを始めました。第1巻は「御留帳御船手」上・下巻です。これまで岡山大出版会が発行してきた学術図書や、岡山大版教科書とは趣が異なる本格的な資料集です。人文社会科学研究科倉地克直教授（附属図書館長）が編者代表になっています。

また、日下部実岡山大名誉教授による「湖水爆発の謎を解く」は、1986年に、カメルーン共和国・ニオス湖で起こった自然災害の謎を解明しようとする科学者たちの20年以上にわたる挑戦が記録されています。

さらに、岡山大学版教科書「**English and Understanding the World**」、学術書「**昆虫の低温耐性**」と刊行が続く予定です。（次回プレスリリース予定）

本日は、池田家文庫資料叢書に焦点を当ててお知らせします。これは、岡山大学附属図書館が所蔵する池田家文庫の岡山藩政資料のうち、貴重なものを順次刊行する試みです。叢書の第1巻、書名は「御留帳御船手」。御船手は藩の海事行政を司る役所のことで、御留帳はその公式記録です。延宝元年から貞享三年（1673～86）までの14年間分13冊が残されており、それを翻刻して、収録しています。書き留められた海難事故をめぐる「浦手形」、藩同士や商人との遣り取りを記した書状などから、どこからどこへ、どのような船が、どのような物資をどれほど運んでいたか、具体的に知ることができます。

時はまさに江戸時代海上交通の大発展が始まる時期にあたっています。瀬戸内海交通はもとより日本海や江戸までの海上交通の実態を知ることができる、貴重な資料集です。

上下二巻・上製本箱入・総頁数1310頁・各7,350円（税込）

＜お問い合わせ＞

岡山大学出版会

（電話番号）086-251-7306 （FAX番号）086-251-7314

E-mail : [okayama-up@adm.okayama-u.ac.jp](mailto:okayama-up@adm.okayama-u.ac.jp)

URL : <http://www.lib.okayama-u.ac.jp/up/>